

Arcserve Backup r17.5 動作要件 (バックアップ装置対応)

2020年5月22日更新

Arcserve Backup r17.5 for Windows で対応しているバックアップ装置の一覧です。

- サーバーと各バックアップ装置間の接続については、システム構成図等を参照ください。
- 対応 OS については、Arcserve Backup r17.5 for Windows 製品とバックアップ装置の双方の動作要件を満たす必要があります。
- バックアップ装置の動作要件は、各装置の仕様等をご確認ください。
- 本ドキュメントに記載のない装置の対応状況については、当社担当営業までお問い合わせください。

索引

- [データカートリッジユニット](#)
- [テープユニット \(内蔵 LTO ユニット\)](#)
- [テープライブラリ \(FUJITSU Storage ETERNUS LT シリーズ\)](#)
- [FUJITSU Storage ETERNUS CS デデュープアプライアンス
\(重複排除技術搭載ストレージ\)](#)
- [FUJITSU Storage ETERNUS DX series ハイブリッドストレージシステム \(NAS 機能\)](#)
- [脚注](#)

データカートリッジユニット

装置	インターフェース	特記事項
PY-RD111/PYBRD111	USB 3.0	(注 1)
PY-RD112/PYBRD112		
PY-RD113/PYBRD113		

テープユニット (内蔵 LTO ユニット)

装置	ドライブ	特記事項
PY-LT301/PYBLT301	LTO3 (Ultrium3)	(注 2)
PY-LT411/PYBLT411	LTO4 (Ultrium4)	
PY-LT511/PYBLT511	LTO5 (Ultrium5)	
PY-LT611/PYBLT611	LTO6 (Ultrium6)	
PY-LT611A/PYBLT611A	LTO6 (Ultrium6)	
PY-LT711/PYBLT711	LTO7 (Ultrium7)	
PY-LT811/PYBLT811	LTO8 (Ultrium8)	

テープライブラリ (FUJITSU Storage ETERNUS LT シリーズ)

装置	ドライブ	特記事項
ETERNUS LT20 S2	LTO4 (Ultrium4) LTO5 (Ultrium5) LTO6 (Ultrium6) LTO7 (Ultrium7) LTO8 (Ultrium8)	(注 2) 、 (注 3)
ETERNUS LT40 S2		
ETERNUS LT60 S2		
ETERNUS LT140		
ETERNUS LT260		
ETERNUS LT270 S2		

FUJITSU Storage ETERNUS CS デデュープアプライアンス (重複排除技術搭載ストレージ)

装置	プロトコル	特記事項
ETERNUS CS800 S6	CIFS	(注4)
ETERNUS CS800 S7		

FUJITSU Storage ETERNUS DX series ハイブリッドストレージシステム (NAS 機能)

装置	プロトコル	特記事項
ETERNUS DX100 S3 / S4 / S5	CIFS	(注5)
ETERNUS DX200 S3 / S4 / S5		
ETERNUS DX500 S3 / S4 / S5		
ETERNUS DX600 S3 / S4 / S5		

脚注

注1： Disaster Recovery Option にて Windows PE リカバリディスクを作成する場合、Arcserve Backup プライマリサーバ、または、スタンドアロンサーバに Windows ADK をインストールしてください。

注2： LTO8 (Ultrium8) のドライブを使用する場合、Arcserve 社のサイトで提供されている Arcserve Backup r17.5 SP1 for Windows 以上を適用する必要があります。

注3： 2ドライブ以上を搭載した装置を使用する場合、Arcserve Backup r17.5 for Windows (本体製品) に加えて、以下の製品が必要です。

Arcserve Backup r17.5 for Windows Tape Library Option

注4： 装置上にファイルシステムデバイスを作成して使用します。

Arcserve Backup のデータデデュプリケーション (重複排除) 機能との併用はできません。

注5： 装置上にファイルシステムデバイスを作成して使用します。

バックアップ先で生成されるファイルに対してアクセス権限が付与されるように、事前に ETERNUS DX 側で設定が必要です。詳細は、以下のドキュメントを参照ください。

[ETERNUS DX S5 series 構築／運用ガイド（NAS 編）](#)

[ETERNUS DX S4/S3 series 構築ガイド（NAS 編）](#)